

2025年3月 法政大学教育開発支援機構 教育開発・学習支援センター

#### 生成 AI ツールの利用に関する学生対象調査の実施結果について

#### 1 調査概要

## (1) 目的

ChatGPT を始めとした生成 AI ツールが手軽に利用できる状況になっているなか、学生の生成 AI ツールに対する考えや利用状況を把握することで、今後の教育改善や学習支援に活かすことを目的とする。

## (2)調査期間

2024年12月10日(火)~2025年1月31日(金)

#### (3)調査対象

全学部生 (通学課程) • 大学院生

## (4)調査方法

法政大学アンケートシステム(Web)で実施

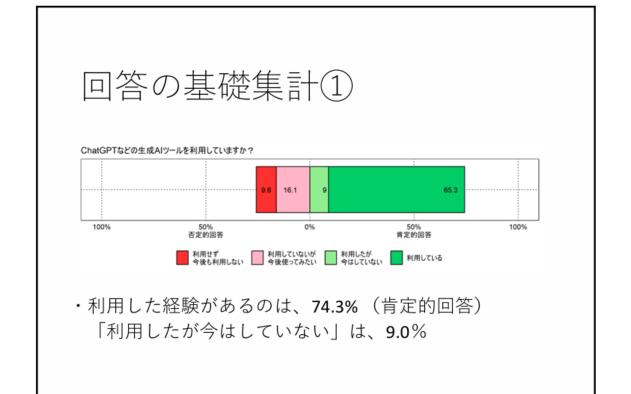
#### 2 回答状況

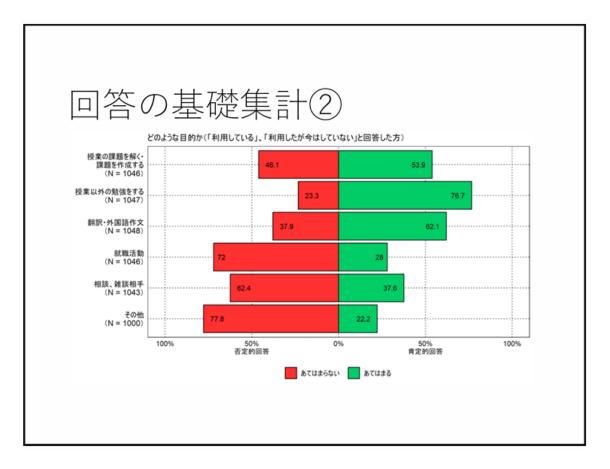
1,382人(回答者数)/30,885人(対象者数) 回答率:4.5%

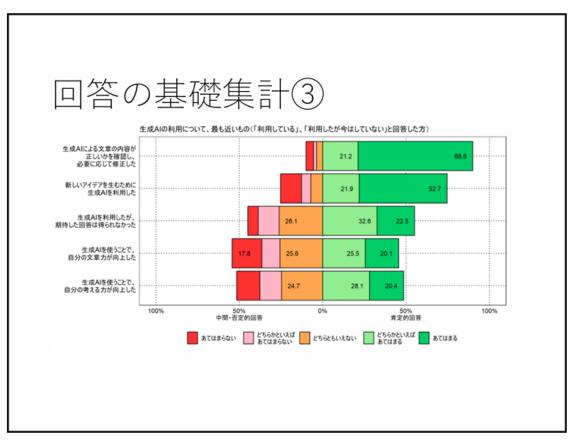
# 回答者の構成比

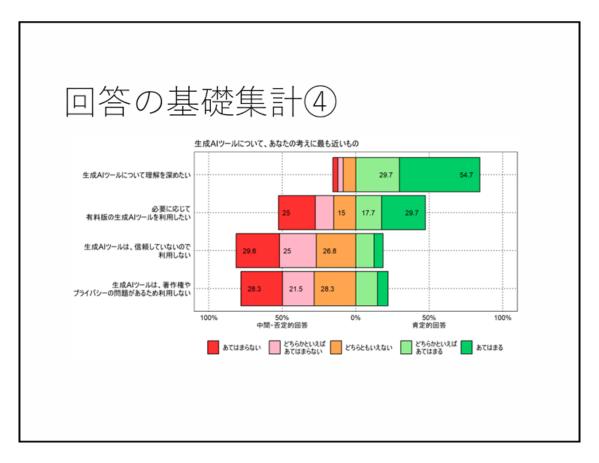
	回答者数	構成比
1年生	428	31.0%
2年生	406	29.4%
3年生	238	17.2%
4年生	192	13.9%
研究科	118	8.5%
合計	1382	100.0%

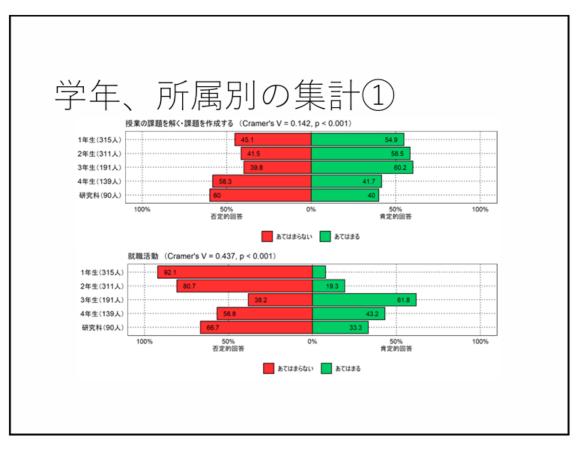
	回答者数	構成比
学部(人文社会系)	934	67.6%
学部 (理工系)	330	23.9%
研究科(人文社会系)	91	6.6%
研究科(理工系)	27	2.0%
合計	1382	100.0%

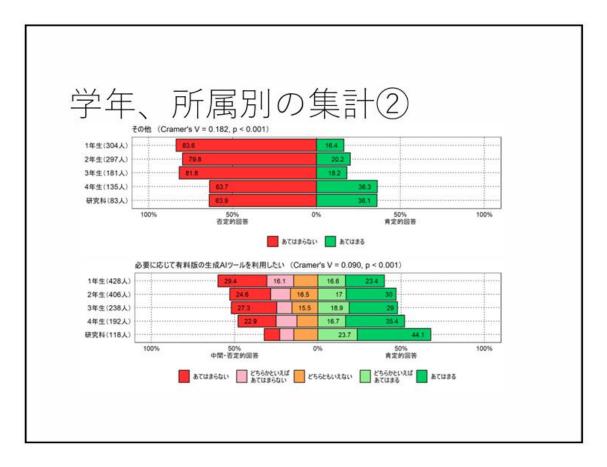


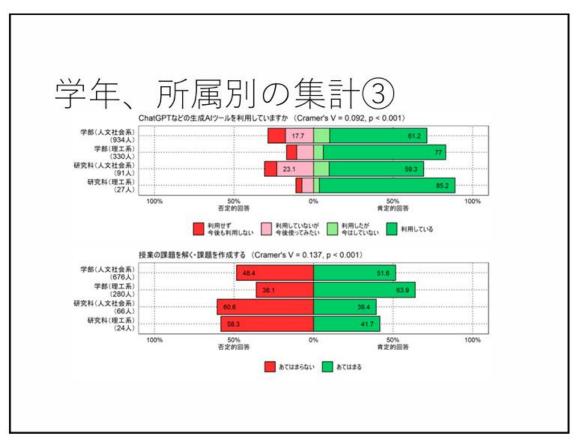


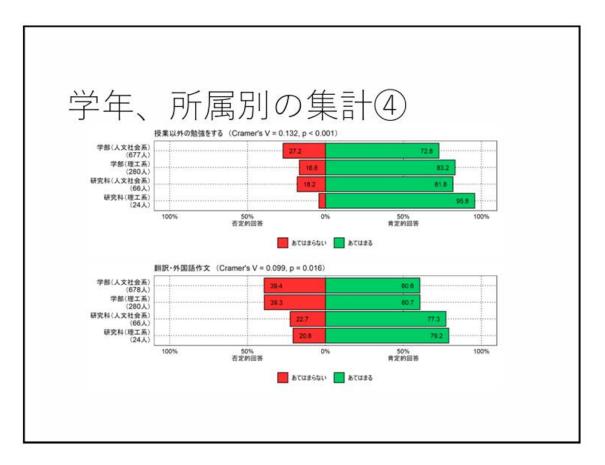


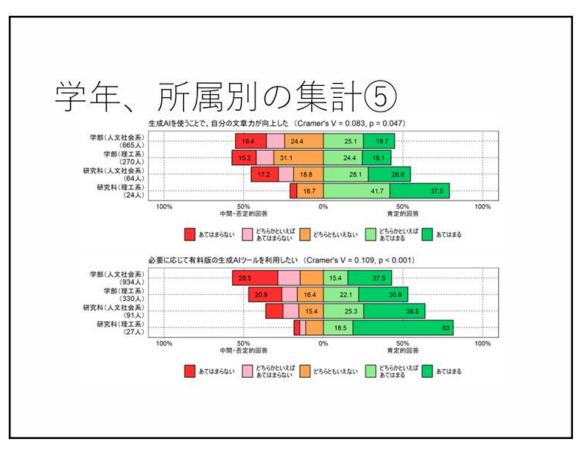


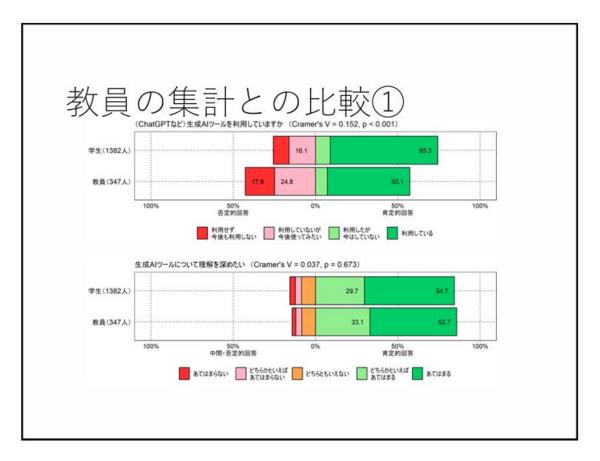


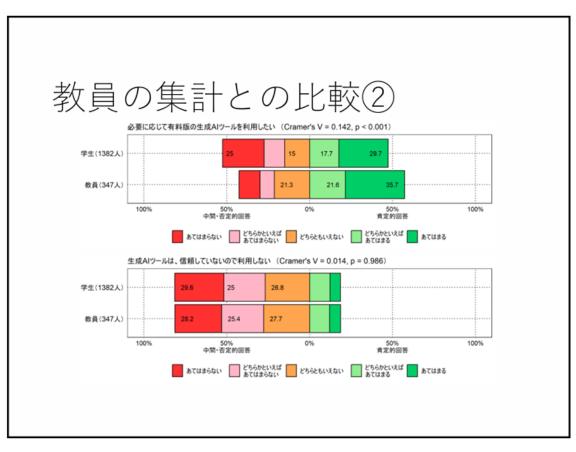












## 集計の要約①

- ・生成AIを利用した経験があるのは、74.3%
- ・利用目的で最も多かったのは「授業以外の勉強をする」の76.7%となった
- ・「生成AIによる文章の内容が正しいかを確認し、必要 に応じて修正した」の肯定的回答は、90.0%である
- ・「生成AIツールについて理解を深めたい」の肯定的回答は84.4%となった

# 集計の要約②

- ・「授業の課題を解く・課題を作成する」目的は、4年生や 研究科よりも1~3年生の方が多かった
- ・「就職活動」目的は、3年生の61.8%があてはまる
- ・学部や研究科を問わず、理工系は生成AIツールを利用した経験が人文社会系よりも多かった
- ・学部よりも研究科、人文社会系よりも理工系において、 「必要に応じて有料版の生成AIツールを利用したい」の 肯定的回答が多かった

## 集計の要約③

- ・自由記述では、課題や研究、メールなど文章表現の確認、 日常的な検索から趣味やアイデア出しなどが挙げられる
- ・生成AIの利用経験は、教員よりも学生の方が多かった
- ・「必要に応じて有料版の生成AIツールを利用したい」に おいて、学生よりも教員の方が肯定的回答は多い
- ・「生成AIツールについて理解を深めたい」や「生成AI ツールは、信頼していないので利用しない」という考え は、学生と教員の間で差があるとは言えなかった